蜂窩織炎・丹毒パス

病棟　　病室

氏名：　　様

患者さんには治療計画に基づいた医療を行います。

説明日：

月日	月　日（　）	月　日()～月　日()	月　日()～月　日()	月　日（　）
項目	入院日	入院2～6日目	入院7～10日目	術後11日目:退院日
目標	・疾患について理解でき、治療が受けられる ・疼痛のコントロールができる	・発熱がない ・皮膚症状の悪化がない	・発熱がない ・疼痛のコントロールができる	・炎症がない(検査結果、皮膚) ・日常生活の注意点がわかる
処置 検査	・患部に冷却剤を当て冷やします ・患部が足の場合は、足を枕などで挙上してください 	【入院4・7日目】 採血 		
点滴	★入院日より1日3回(朝、昼、夕)抗生剤の点滴を行います(1週間を予定してますが、状態により変更いたします) 			
内服薬	・薬剤師が持参薬を確認します ★入院前から内服していたお薬は、医師の指示に従い内服してください 			
食事	・食事の制限はありません。持病をお持ちの方は治療食に変更させていただきます 			
清潔	・症状に応じてシャワー可能となります。医師の指示により変更となる場合がありますので、その都度ご説明いたします ・シャワー浴ができない場合は、看護師が体拭きや洗髪を手伝います 			
活動 安静度	・患部の部位により安静が必要となります(患部が足の場合の移動は車いすとなります)。 また、医師の指示により安静が変更となる場合がありますので、その都度ご説明いたします 			
排泄	・トイレ歩行は可能です(患部が足の場合の移動は車いすとなります) 			
説明	【医師より】 ・治療の説明があります ・説明後、入院診療計画書にサインを頂きます 【看護師より】 ・安全確認の為、患者識別バンドを付けます ・入院オリエンテーションをします ・転倒予防について説明します ＊ご不明な点があれば説明させていただきます	【痛みが強い場合】 ・内服薬のほかに坐薬も用意しております ・眠れない場合は睡眠薬も用意してあります。 看護師にお声をかけてください  【むくみがある場合】 ＊むくみがある場合は、弾性包帯を巻きます。 包帯の巻き方は入院中に説明し、退院後に向けて練習します	【退院後の生活の注意点】 ・再発予防のため、飲み薬が処方されることがあります。医師の指示に従い内服してください ・炎症のあった部分をマッサージしてはいけません ・免疫力が低下すると再発することがあります ・糖尿病のコントロールをしてください ・赤く腫れ、痛みがある場合は早めに受診をしてください ・入浴の制限はありません。患部を石鹸で優しく洗い、清潔に保つようにしてください 	

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。 経過はその都度、個別にご説明します。

東京女子医科大学附属足立医療センター　2026年1月　第3版